第 15 回 放射線による非破壊評価シンポジウム 護演募集

(一社) 日本非破壊検査協会・放射線部門では、会員を中心とした学術活動を行っておりますが、広く会員以外 の研究者・技術者との交流を図り、この分野の一層の発展を期すために2年に1回、公開のシンポジウムを開催し ております。

放射線は科学・技術・学術、医療、工業、農業等の幅広い分野において利用されており、科学・技術・学術の進 歩、国民の福祉、国民生活の水準向上に大きな貢献をしています。

東日本大震災による原子力発電所の事故に関連し、放射線管理への関心が高まっていますが、放射線利用につい ては、広く社会に普及し、国民生活に深く浸透しているにもかかわらず、恩恵についての社会的認知度は低いのが 現状です。

工業分野における放射線の利用は、加工、試験・計測及び環境保全に大別されますが、「放射線による非破壊評価 シンポジウム」と題して、放射線を利用した試験・計測に関するテーマについて広く議題を募集して開催いたしま すので、放射線関連分野の皆様の積極的な応募と参加をお願いいたします。

公募テーマ

- 1. 放射線の基礎と応用
- 3. 放射線源、放射線装置

- 2. 放射線透過·透視試験技術
- 4. 感光材料、放射線検出器
- 5. デジタルラジオグラフィ (DR) (DR 装置、適用例、フィルム法との比較など)
- 6. X線 CT (工業用 CT 装置、3次元画像技術、寸法・形状測定など)
- 7. X線による撮像技術(複数エネルギー位相・屈折コントラスト、タイコグラフィなど)
- 8. 中性子ラジオグラフィ

9. 製造工程の管理、部品検査

10. 製造中検査、使用前検査

- 11. 供用中検査、スクリーニング検査
- 12. 放射線応用技術(分析、計測など)
- 13. 放射線安全管理、放射線測定
- 14. 放射線関連規格(国内規格、ISO 規格、海外規格)

催: 一般社団法人 日本非破壊検査協会 放射線部門 主

2026年3月2日(月)予定

日本非破壊検査協会 亀戸センター 場 所:

開催方法: 耐炫

参加費

含む)

JSNDI 正会員 4,000円 登壇者・座長 4,000円 学生会員 3,000円 (講演論文集を 協替団体会員 6,000円 8,000円 一般 非会員 学生 4,000円

:2025年11月21日(金) 議題締切 原稿締切 : 2026年 2月 9日 (月)

講演論文集: 印刷形式にて配付(刷り上がり B5 版, 1件6 頁以内)

講演申込方法:講演申込については部門ホームページからお申し込み下さい。申込書受領後、受領確認のご連絡を

差し上げます。受領確認の通知が届かない場合は、ご連絡下さるようお願いします。

: 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14 京阪亀戸ビル 10 階 問合せ先

一般社団法人 日本非破壊検査協会 学術課

「第15回 放射線による非破壊評価シンポジウム」係 TEL: 03-5609-4015 E-mail: yasoshima@jsndi.or.jp

- ・発表資料の撮影 (録画),録音,保存,印刷等の行為は禁止します。
- ・当会で行われた講演の抄録については、国立研究開発法人科学技術振興機構(以下 JST)が管理する文献データベース (JDreamⅢ、J-GLOBAL) への収録および人工知能「AI」に関連する利用が行われる場合がありますので、予めご了承 ください。なお、抄録はJST の著者抄録利用方法により取り扱われます。

注)シンポジウム期日内に満30歳以下の登壇者は新進賞の選考対象となります。受賞対象者は、当協会正会員(個人会員、団 体会員の登録者)及び学生会員であり、非会員については、後日会員になる事が条件です。但し、既受賞者は対象外(学術関連 の他賞を含む)です。なお、上記の条件に該当する発表者は講演申込に会員資格・生年月日・年齢を必ずご記入の上、申込み下 さい。記入がない場合は審査対象外となりますので、ご注意下さい。